

# 子ども県政コーナー

小中学生向けに鳥取県の取り組みを紹介しています。

## 「ごみゼロ社会」を目指して

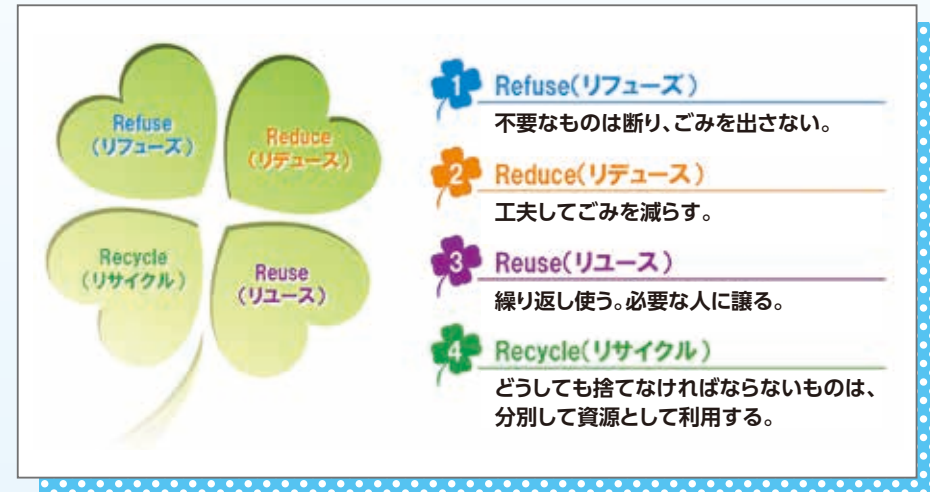
鳥取県では、子どもから大人まで全県民が一体となって、ごみの発生を減らすとともに、ごみを資源として循環させるリサイクルに取り組むことで、「ごみゼロ社会を目指した4R（よんあー）実践の地域づくり」を進めています。

### 鳥取県のごみの現状

県内の家庭から出るごみのリサイクル率※は全国4位で、他の地域より進んでいます。ところが、1人1日あたりのごみの量は全国39位と他の地域より多い状況にあるので、ごみを減らしていく必要があります。 ※出されたごみのうちリサイクルされたものの割合

### ごみを減らす4つのステップ「4R」

「4R」とは、ごみを減らし、資源として生かすための行動を意味する次の4つの英単語の頭文字「R」を指しています。行動するときの順番も大切です。



### 買い物にはマイバッグを～リフーズ～

お店に行くときはマイバッグを持っていく、買うものが少ないときは買った商品にシールを貼ってもらうなど、必要ないレジ袋は断わることが大切です。



### Reduce

## おいしく残さず食べきろう！ ～リデュース～

食べられるにもかかわらず捨てられてしまう食品(食品ロス)が多く発生し、問題となっています。県では、こうした食品ロスを減らすために取り組むお店を「とっとり食べきり協力店」として登録しています。残さず食べきりたいと思ったら、ステッカーを目印に、お店の人に量を減らしてもらおうよう声を掛けてみましょう。

- レストランやホテルでの取り組み**  
ごはんの量の調整、小盛りメニューの設定、食べきりの呼び掛けなど
- 食品を売るスーパーマーケットでの取り組み**  
ばら売りや少量パックでの販売、期限間近の商品の割引など



### Reuse

## 「もったいない」の心で物を大切に～リユース～



リユース食器

イベントやスポーツの試合などで食品を入れるのによく使われている「使い捨て容器」の代わりに、「リユース食器」を使う取り組みが広がっています。これは洗って繰り返し使うことができるのでごみが減るだけでなく、資源の節約や地球温暖化の原因となる二酸化炭素の排出量の削減にもつながります。



リユース市の様子

また、着なくなった服や遊ばなくなったおもちゃなども、まだ使える状態であれば、リユース市やフリーマーケットなどを利用して、必要としている人に譲る仕組みがあります。捨てる前にこれらが利用できないか探してみましょう。

県は4Rの取り組み効果をまとめたリーフレット(右図)を作成しています。県のホームページ(<http://www.pref.tottori.lg.jp/27145.htm>)でも見るができます。

ごみを減らすため、一人一人ができることから4Rに取り組んでみましょう。

